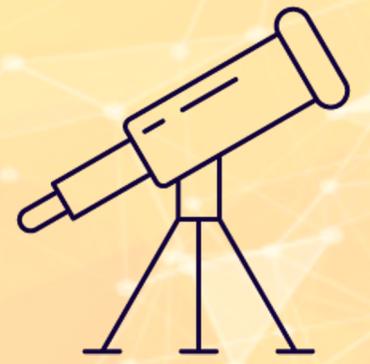
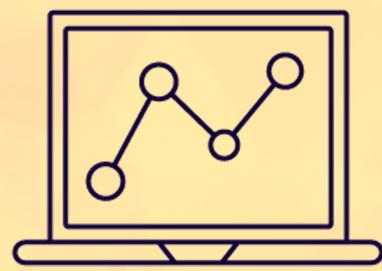


# 研究環境改善WG



# 科学研究における国際的地位の低下

## 総論文数

1996~1998年 2位  
2006~2008年 4位  
・・・  
2016~2018年 5位

1996-1998

全分野	1996 - 1998年 (PY) (平均)		
	論文数		
	整数カウント		
国・地域名	論文数	シェア	順位
米国	225,288	32.2	1
<b>日本</b>	<b>66,036</b>	<b>9.4</b>	<b>2</b>
ドイツ	60,817	8.7	3
英国	60,446	8.6	4
フランス	45,238	6.5	5
カナダ	30,401	4.3	6
イタリア	28,578	4.1	7
ロシア	27,082	3.9	8
中国	19,490	2.8	9
スペイン	18,772	2.7	10
オーストラリア	18,051	2.6	11
オランダ	17,248	2.5	12

2006-2008

全分野	2006 - 2008年 (PY) (平均)		
	論文数		
	整数カウント		
国・地域名	論文数	シェア	順位
米国	283,615	28.7	1
中国	95,507	9.7	2
ドイツ	77,114	7.8	3
<b>日本</b>	<b>76,430</b>	<b>7.7</b>	<b>4</b>
英国	75,592	7.7	5
フランス	56,583	5.7	6
イタリア	44,845	4.5	7
カナダ	44,657	4.5	8
スペイン	34,811	3.5	9
インド	32,607	3.3	10
韓国	30,273	3.1	11
オーストラリア	28,912	2.9	12

2016-2018

全分野	2016 - 2018年 (PY) (平均)		
	論文数		
	整数カウント		
国・地域名	論文数	シェア	順位
米国	375,191	24.4	1
中国	351,628	22.9	2
英国	110,733	7.2	3
ドイツ	107,048	7.0	4
<b>日本</b>	<b>81,095</b>	<b>5.3</b>	<b>5</b>
フランス	74,536	4.9	6
インド	69,712	4.5	7
イタリア	68,914	4.5	8
カナダ	65,373	4.3	9
オーストラリア	60,190	3.9	10
韓国	58,881	3.8	11
スペイン	56,319	3.7	12

## トップ1%論文数

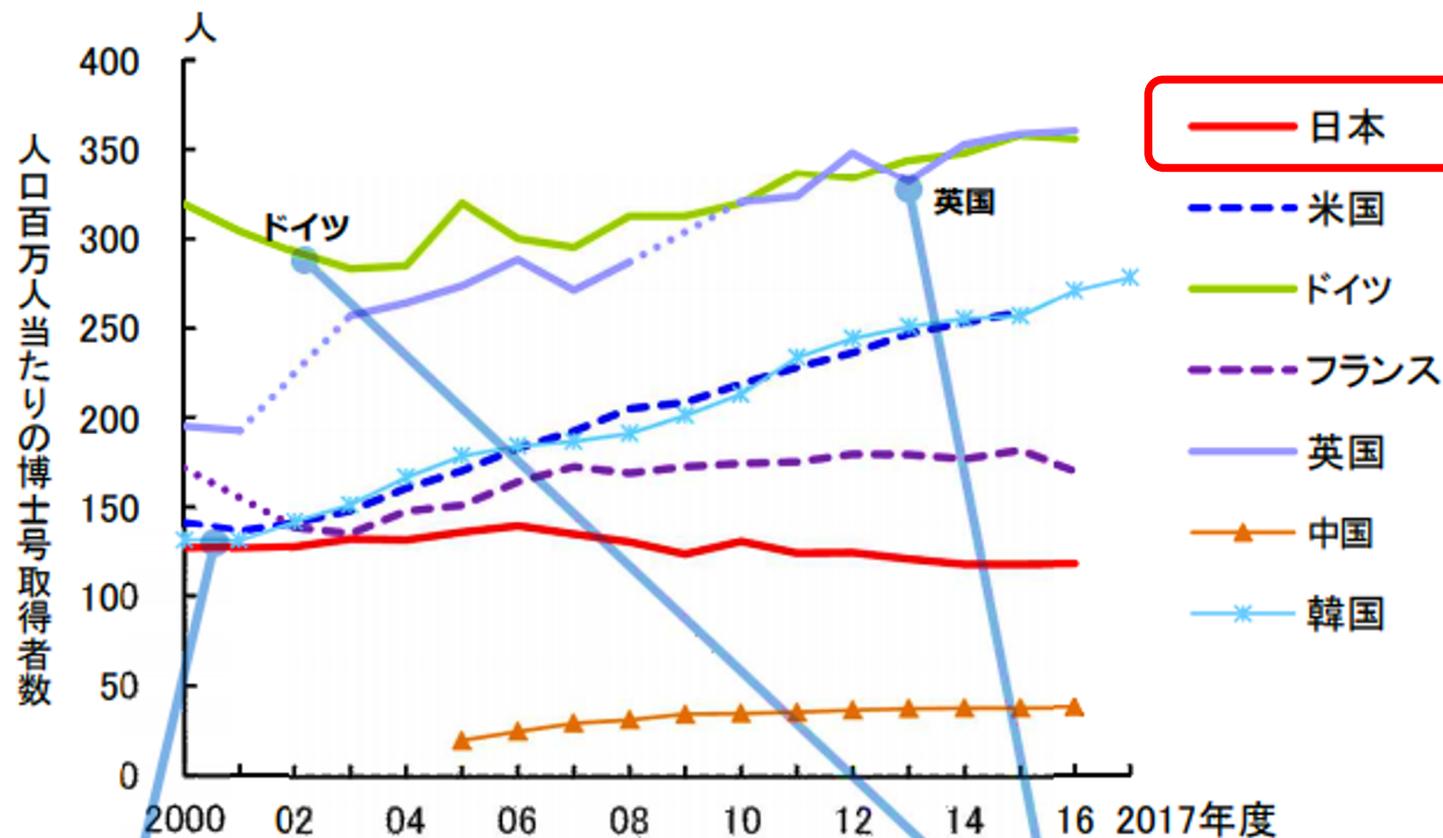
1996~1998年 5位  
2006~2008年 7位  
・・・  
2016~2018年 12位

全分野	1996 - 1998年 (PY) (平均)		
	Top1%補正論文数		
	整数カウント		
国・地域名	論文数	シェア	順位
米国	4,171	59.6	1
英国	820	11.7	2
ドイツ	593	8.5	3
フランス	469	6.7	4
<b>日本</b>	<b>425</b>	<b>6.1</b>	<b>5</b>
カナダ	421	6.0	6
オランダ	276	3.9	7
イタリア	261	3.7	8
スイス	231	3.3	9
オーストラリア	221	3.2	10
スウェーデン	179	2.6	11
スペイン	134	1.9	12

全分野	2006 - 2008年 (PY) (平均)		
	Top1%補正論文数		
	整数カウント		
国・地域名	論文数	シェア	順位
米国	5,242	53.1	1
英国	1,379	14.0	2
ドイツ	1,110	11.3	3
フランス	755	7.7	4
カナダ	724	7.3	5
中国	662	6.7	6
<b>日本</b>	<b>539</b>	<b>5.5</b>	<b>7</b>
イタリア	536	5.4	8
オランダ	514	5.2	9
オーストラリア	477	4.8	10
スイス	418	4.2	11
スペイン	397	4.0	12

全分野	2016 - 2018年 (PY) (平均)		
	Top1%補正論文数		
	整数カウント		
国・地域名	論文数	シェア	順位
米国	6,942	45.2	1
中国	4,692	30.6	2
英国	2,569	16.7	3
ドイツ	2,007	13.1	4
オーストラリア	1,414	9.2	5
フランス	1,356	8.8	6
カナダ	1,352	8.8	7
イタリア	1,182	7.7	8
オランダ	1,056	6.9	9
スペイン	984	6.4	10
スイス	926	6.0	11
<b>日本</b>	<b>794</b>	<b>5.2</b>	<b>12</b>

# 博士号取得者の減少：研究コミュニティの縮小



	年度	人口100万人 当たり博士号取 得者数 (人)
日本	2016	118.5
米国	2015	258.3
ドイツ	2016	355.8
フランス	2016	170.0
英国	2016	360.3
中国	2016	38.6
韓国	2017	278.3

・米国、韓国は2000年度には日本と同程度であったが、その後順調な伸びを見せ、最新値では日本の約2倍

・ドイツは継続して主要国の中で一番の規模  
・英国は2010年度ごろからドイツに追いつき、その後は両国とも同程度に推移

**研究環境改善WGが目指すこと**



# **日本の科学をとりまく 環境・しくみの改善**

**サステイナブルなグラウンドデザインを提案します！**

# ユニットの紹介（1）

## グランドデザイン検討ユニット

- 日本の研究力低下の要因の分析
- 日本の科学技術が目指すもの：原点から議論
- グランドデザインの検討
- 行政、政治家との対話、アドボカシー活動



## ユニットの紹介（2）

### 研究基盤検討ユニット

- ・ 研究基盤の理想像を描く
- ・ 現状の研究基盤を明らかにする
- ・ 理想像を目指す上での手段・経路を検討する
- ・ 容易に理解することができる提言としてまとめる

### キャリアパス検討ユニット

- ・ 研究人材の多様なキャリアパスの実現を目標とし、シンクタンク的な機能を担い、その実現に向けた取り組みを行う

# ユニットの紹介（3）

## 人社系ユニット

- ・ 人文社会科学系の視点からの研究環境改善
- ・ 人社系の社会的価値を高めるための活動
- ・ 人社系勉強会、人社系異分野交流会を実施

## 研究公正推進ユニット

- ・ 社会と広く対話することを通じて、研究者に求められる理想的な姿勢を明らかにする
- ・ 研究者が社会から信頼を得る上で必要な公正な姿勢を表す「研究者の行動規範」を提言する

**このような仲間を求めています！**



**現在の日本の科学をとりまく環境に疑問を持っており、「これを改善したい」という高いモチベーションのある方**

**行政や政治家を含む様々なステークホルダーとのオープンな対話を通じて、研究環境のしくみを改善することに熱意をもって取り組むことができる方**